

院長コラム

「トイレ」には多くの呼び方があります。他には「お手洗い」、「化粧室」、「便所」…。「お手洗い」、「化粧室」は用を足すことに付随する行為を指した「トイレ」の婉曲表現です。「お手洗い」の語源は神社を参拝するとき、手を洗って清める「御手洗（みたらい）」という風習からきたと言われています。仏語で「トイレ（toilettes）」は化粧室も意味



します。「はばかり」、「ごふじょう」、「かわや」という方は今では皆無です。それぞれ、「人目を憚る（避ける）ところ」、「不浄なところ」、「川の中に張り出した小屋（母屋のそばに作った側屋という説もあり）」を意味します。私が子どもの頃、家族の共通語は「便所」でした。「ぼっとな便所（汲み取り式トイレ）」だったから？「トイレ」が共通語になったのは、「水洗式トイレ」の設置がきっかけだったと記憶しています。

院長 茶堂 宏

あの青いテープって、なぜなくなった？

学校に行く前に青いセロハンをお尻に貼っていた時代を覚えていますか？お尻に手が届かなくて、ご両親に手伝ってもらった方もおいでになるはず。1958年に義務化されたこの「ギョウ虫検査」、2016年に健康診断の必須項目から外されました。ギョウ虫検査をしなくても本当に大丈夫なの？このような疑問がわいてきます。

ギョウ虫は、戦後直後は80%以上の子どもが感染していました。2015年の学校保健統計での感染率は、幼稚園では0.06%、小学校（6～8歳）で0.12%。これは、ひとえに子どもたちを取り巻く衛生環境が改善したからです。ただ、卵が高温・多湿を好むため、九州地方、とくに沖縄での保有率は高かったようです。

ギョウ虫は、世界的に分布している寄生虫です。メスは1センチ程度、オスはその3分の1ほど。口から感染した後、盲腸に寄生します。人が寝静まると、肛門からはい出て、一万個ほどの卵を産みます。それが原因で、お尻が痒くなって、落ち着きがなくなったり、眠れなくなったりすることがあります。

卵がシートについたり、お尻をかいた手で物を触ったりして、それを別の人が触り、手を口に持っていくと、その人も感染します。それを繰り返して、人から人へと感染していきます。

私が小学生の頃、すでに学校現場では「手をしっかりと洗う」教育がなされていました。当時は、ギョウ虫などの寄生虫対策の意味合いもあったはず。コロナ禍において、日本の「手洗い文化」が、海外で評判になったのはこのような教育が培われ、根付いたからなのかもしれません。

幼少の頃、一家全員でギョウ虫駆除の薬を飲んだ記憶がかすかに残っています。では、薬を飲まないでギョウ虫は駆除できないのか？産卵を終えたメスは人の体内に戻らず、死んでしまいます。理論的には薬を飲まなくても、再感染を起こさなければ、ギョウ虫は自然に駆除されます。

院長 茶堂 宏





夏の虫刺され



夏場は虫に刺される機会が多くなってきます。とくに多いのが蚊です。蚊に刺された経験がない場合、免疫反応が強くなるため、一部の人は赤く腫れたり、範囲が広がったりします。蚊に刺されると痒みが強く、掻いてしまうと、細菌が入りやすくなって感染症を引き起こすこともあります。痒みがある時は、薬を塗り、擦らないようにして痒みを抑えることも必要です。まずは刺されないために虫よけスプレーや蚊取り線香、長袖・長ズボンなどで肌を覆うなどの予防対策が大切です。(古谷)



スマイルダイアリー



当院の入り口の植木鉢には小さな犬の人形があります。先日、診察が終わって帰ろうとしていたお子さんが、植木鉢に向かって「わんわんバイバイ」と声をかけていました。お母さんは、植木鉢の下部にいる小さな犬の人形に気付かなかったようでしたが、しゃがんで人形に気付いたようでした。しゃがんで子どもの目線になると、新しい視点に気づき、それが新鮮さや驚きをもたらすことを発見しました。(小田)



おすすめの本の紹介



牛はどこでも「モ〜！」
作：エレン・スラスキー・
 ワインスティーン
絵：ケネス・アンダーソン
訳：桂かい枝
発行所：鈴木出版株式会社

国によって動物の鳴き声の表現が違うけど、牛はどの国でも「モ〜！」と鳴く！牛が繰り返してくるのでリズムがあり、読み聞かせにぴったりの1冊です。(大田)



手作りシロップでかき氷



オレンジ（みかん）、砂糖を使ってシロップを作りました。作り方は簡単でオレンジ（150g）の皮と薄皮を剥き、果肉を取り出します。鍋に果肉と砂糖（70~80g）を入れて弱火で10分ほど煮ながら粗く潰し、粗熱をとったら出来上がりです。さっぱり食べられて暑い夏におすすめです。(活田)



スタッフ
から一言

気温・湿度ともに上がり、汗ばむ季節になってきました。汗をかいたときはこまめに汗を拭いたり、たくさん汗をかいたときはシャワー浴をしたりして、快適に夏を乗り切っていきましょう。(城山)